

JRVC

感染防止ガイドライン

【災害救援編】

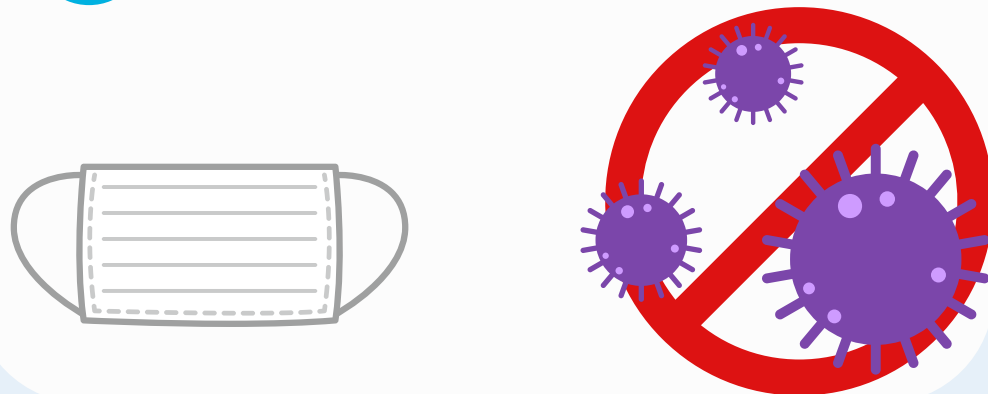
災害救援者として心掛けておくこと

- 1 災害救援に向かうための心身の健康維持
- 2 体制及び資器材の常時整備
- 3 救援活動は感染拡大につながる可能性があることに留意
- 4 活動の可否は自己判断ではなく総合的・客観的に判断
- 5 中間支援組織、常駐団体との連携維持、継続的な情報収集
- 6 感染予防が確保されない場合には迷わず中止を判断

感染予防の基本

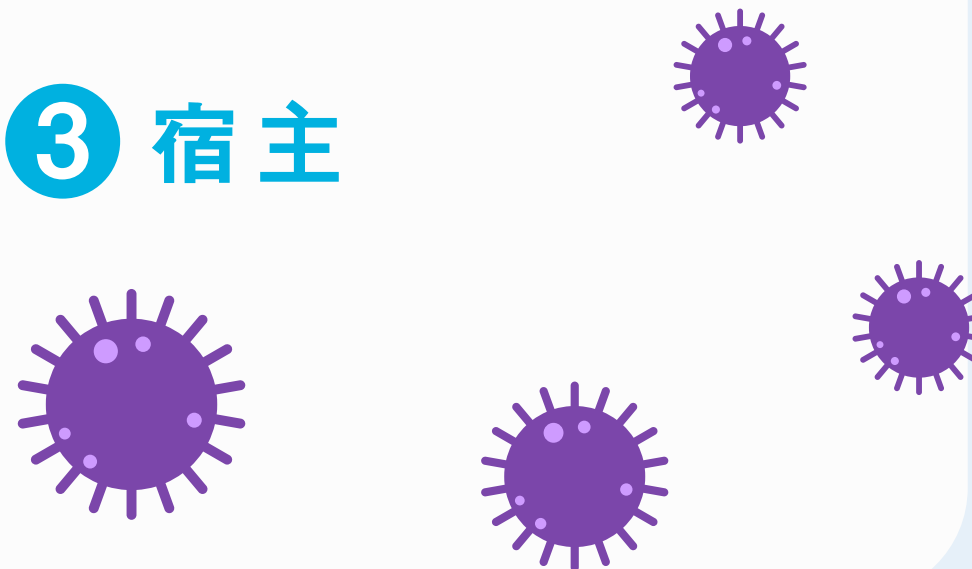
感染防止の3原則

- ① 持ち込まない
- ② 持ち出さない
- ③ 拡げない



感染成立の3要素

- ① 病原体（感染源）
- ② 感染経路
- ③ 宿主



行動3原則

- ① 三密（密着・密接・密集）
- ② ソーシャルディスタンス
- ③ こまめな手洗い手指消毒



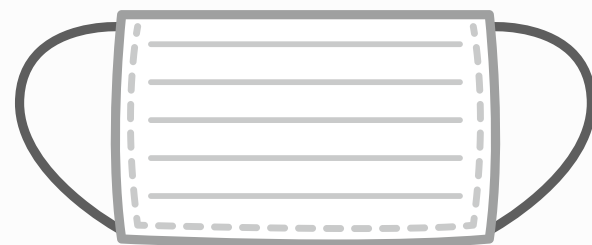
活動計画→出発前

1

体調管理

(普段から常に心掛けておくこと)

- ☐ 感染予防
- ☐ 心身の健康維持・増進、免疫力の向上



2

活動地域の感染 リスク等の評価

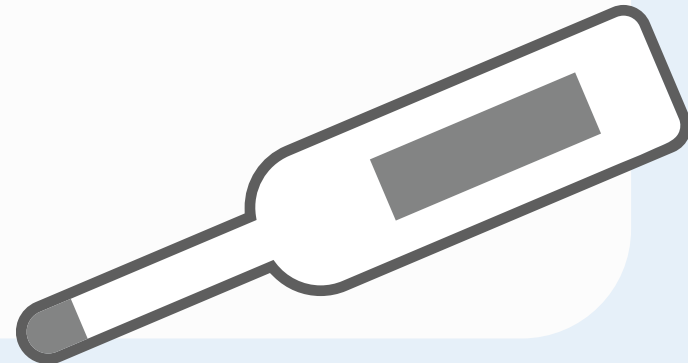
- ☐ 「持ち込まない」「持ち帰らない」「拡げない」
- ☐ 活動地域での感染の状況
- ☐ 感染予防に対する行政の対応状況
- ☐ 外部支援者の受け入れ状況
(中間支援組織等に確認)
- ☐ 感染症に対する保健所、医療機関の体制



出発→到着

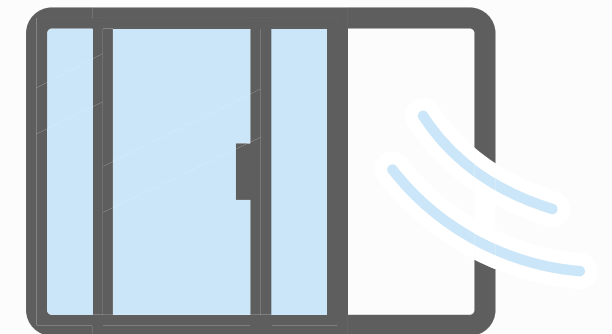
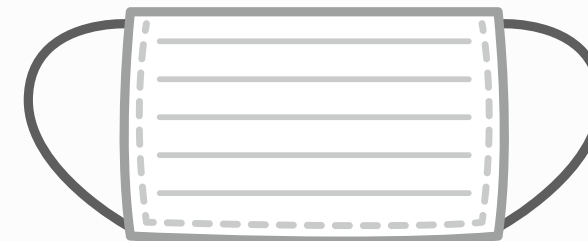
1 体温チェック

- ☐ 検温 37.5°C 以上または平熱比 $+1^{\circ}\text{C}$ 発熱の有無
- ☐ 息苦しさ、強いだるさ、咳・咽頭痛の有無
- ☐ 新型コロナウイルス感染者との2週間以内の接触の有無
- ☐ 味覚・嗅覚異常



2 移動中の感染防止

- ☐ 公共交通機関
車内での飛沫、接触感染の予防
- ☐ 車両移動
車内換気、同行者相互の感染予防



出発→到着

3

持込品



□ 物資

清拭・消毒により感染源を除去後搬送

□ 活動資器材

出発前の清拭・消毒



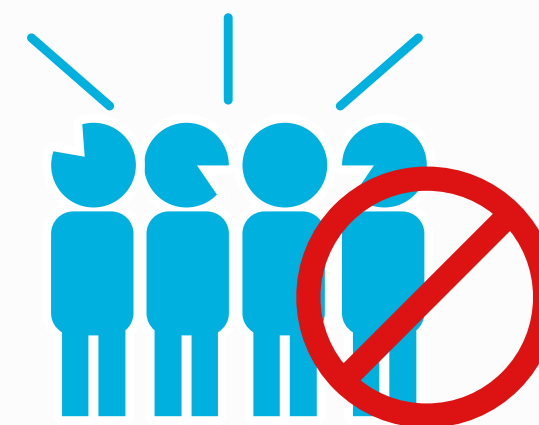
4

休憩・買い出し

□ 物資、活動資器材とも極力現地での調達回避

□ コンビニ等の施設利用時の飛沫・接触感染予防

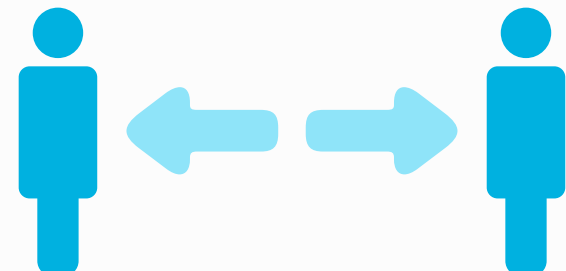
□ 大声での会話を自粛



現地到着→待機場所

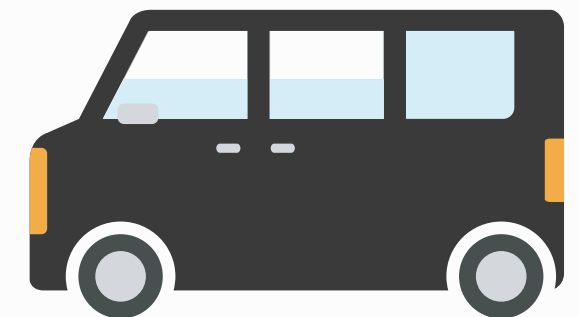
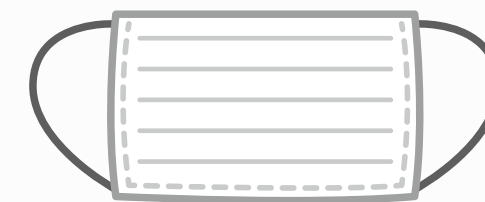
1 集合・待機場所

- ☐ 到着直後の手洗い、手指消毒
- ☐ 参加者同士のソーシャルディスタンスの確保
- ☐ 拠点建物への必要外の出入りは避ける
- ☐ 屋内を使用する場合には換気を実施
- ☐ 健康チェック（検温、症状の有無）



2 移動

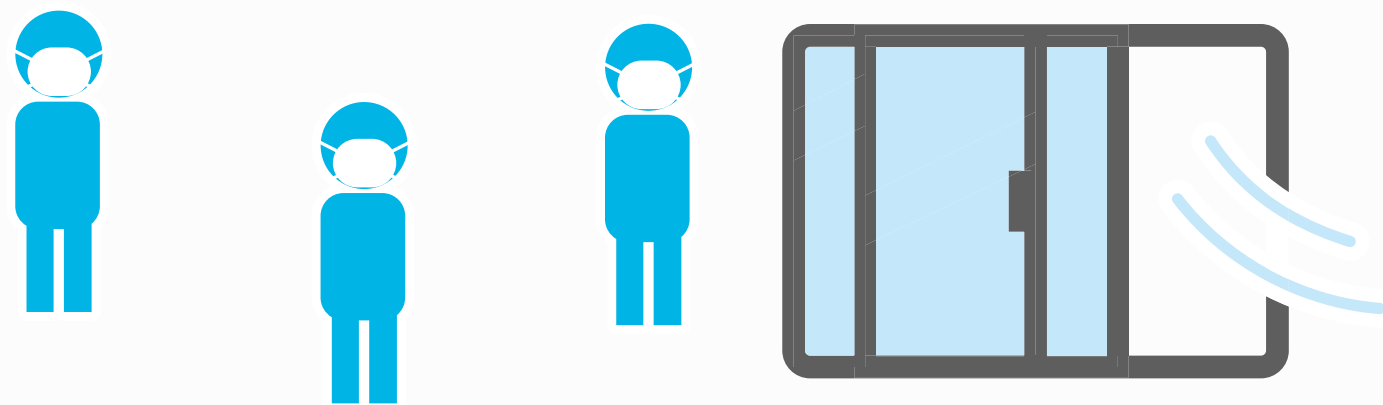
- ☐ 車に相乗りするときには窓開放
- ☐ 感染防止装着（マスク、フェイスシールド、ゴーグル）
- ☐ 他県ナンバーであることを意識した行動



現場到着→活動開始

1 依頼者との打ち合わせ

- ☐ 担当者を決め、専属で行う
- ☐ 感染防止のための配慮について説明する
- ☐ 室内での確認、作業は換気を確保し、最小人数に絞る



2 活動中の感染予防

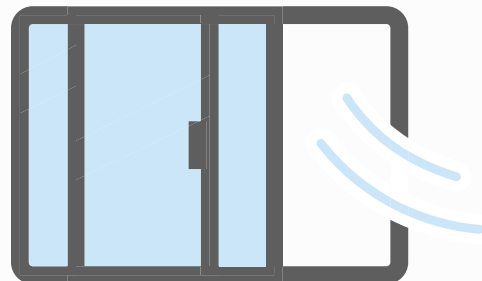
- ☐ こまめな手指消毒
- ☐ 活動シーンに合わせた予防策の選択
- ☐ 個別活動時の軽装化、屋内活動時の重装化
- ☐ 複合的な身体防護と安全管理
(粉じん対策、熱中症対策)



活動終了→帰宅

1 現場引揚

- ☐ 依頼者宅等の消毒担当者を決め、専属で行う
- ☐ 感染防止のための配慮について説明する
- ☐ 屋内での確認、作業は換気を確保し、最小人数に絞る



2 活動中の感染予防

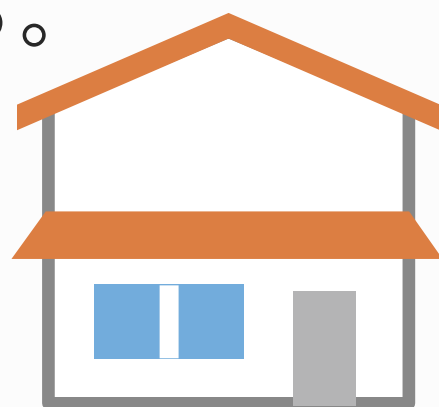
- ☐ こまめな手指消毒
- ☐ 活動シーンに合わせた予防策の選択
- ☐ 個別活動時の軽装化、屋内活動時の重装化
- ☐ 複合的な身体防護と安全管理（粉じん対策、熱中症対策）



帰宅以降

1 感染拡散防止

- 症状が出ていない場合でも、2週間程度は人との濃厚接触を避けるなど、自身が感染している可能性を考慮した行動を心がける。



2 感染疑いとなった場合

- 検温37.5℃以上または平熱比+1℃発熱
- 息苦しさ、強いだるさ、咳・咽頭痛の発症
- 支援受け入れ先への速報
→ 当日参加者への連絡・追跡調査
- 医療機関受診、PCR検査実施
→ 結果を支援受け入れ先に通報

3 感染確定

- ※ 参加者リストの提出等、保健所への情報提供、保険申請の準備



※参加者の発症があった場合の措置

1 拡散防止

□ 対応者

- ・マスク(N95)
- ・フェイスシールド(又はゴーグル)
- ・手袋(ディスポ)
- ・感染防止衣(必要により)の着用



□ 発症者

隔離、マスクの着用

□ 濃厚接触者の活動停止

□ 接触場所、資器材の消毒

2 容体観察

□ バイタル等の継続観察 (時系列を記録)

症状の確認



発症=COVI-19 とは
限らない、他の病気も疑う

3 保健所等への連絡

□ 主催団体、中間支援組織を経由し、対応を手配

□ 保健所、医療関係者への引き継ぎに必要な情報(氏名等)の準備

